



HANDA CUP第53回全日本プロボウリング選手権

11月29～12月1日 / 新狭山グランドボウル

川添奨太 V6は絶対王者の証明



▲デビュー10年で6度目の全日本制覇



▲再決定戦の9、10フレは「経験したことのない緊張感だった」と振り返った川添



▲「ブレイオフの可能性もあった最後の投球がストライクにならず崩れ落ちる永野。『レーンを読めていなかったので仕方ない』」



▲ランキングトップの可能性を残していた藤井だが、3位決定戦はレーンを攻略できなかった

2019男子プロツアーを締めくくる全日本プロボウリング選手権大会は、3位で決勝に進んだ川添奨太(49期・トドロキボウル)が、再優勝決定戦を含む4Gを連取して、6度目の頂点に立ち、永久シードの20勝へ王手をかけた。同時にポイント、賞金、アベレージでもトップに立ち、6度目の3冠に輝いた。(主催: (公社)日本プロボウリング協会 / 国際スポーツ振興協会)

ディフェンディングチャンピオンの永野すばるが、予選(24G)を14位で通過すると、準決勝(12G)は断トツの2589

を打って、トータル7323で2年連続のトップシードを決めた。予選からトップを走り続けていた藤井信人は、準決勝最終Gを151と落として2位での進

出。予選4位の川添奨太が一つ順位を上げて3位、逆に予選3位の渡邊航明は、準決勝で苦しんだものの、4位で決勝に進んだ。今大会で、アベ200を上回ったのはこの4人だけと、史上最高難度のレーンコンディションといっても過言ではなかった。

4位決定戦

2フレに③⑩スプリットでオープンを作った渡邊は、その後も波に乗れず162に終わり、5フレから6連発で258と伸ばした川添が勝ち上がった。

3位決定戦

藤井は2フレのワッシャーをカバーできずオープンとすると、その後も最後までレーンのアジャストに苦しんだ。フォーススタートの川添も終盤はもたついていたが、212:151で危なげなく優勝決定戦進出を決めた。

優勝決定戦

ともにレーンへの攻略に手を焼き、6フレまでは互角だったが、7フレ永野が②④⑤⑧をカバーミスすると、川添は7フレからフォースとたたみかけ、201:172で制して再優勝決定戦に持ち込んだ。

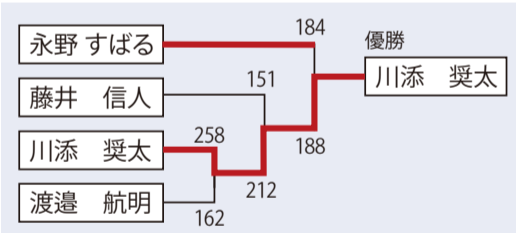
再優勝決定戦

ターキースタートの川添に対し、永野は2フレビッグフォーでつまずいた。そのまま突っ走るかと思われた川添だが、5フレはビッグフォー。永野はすかさず5フレからのターキーで追いついた。同ピンで迎えた10フレ、7本スペア、6本の永野を、ストライク、9本スペアの川添が

188:184で下して、6度目の頂点に上り詰めた。



▲最終日のメディアムオイルのコンディションには苦戦した渡邊だが、来季につながる4位



優勝・川添奨太のコメント

「絶対王者であり続けるためにもPBA挑戦はやめられない」

最近の出遅れ癖が今回も出てしまったけど、全日本はゲーム数が長いし、ハイスコアの戦いにはならないのがわかっていたので、メンタルコントロールを意識した。だから最初メディアムオイル以外はまずまずうまくいった。準決勝も、ビッグもないけど、ローもない波が少ないボウリングで、200アベにマイナス6ピンでしのげた。ただ3位通過で、優勝のためには4G勝たなければならなくて、正直自信はなかった。これまで5勝のうち1回だけ2位通過で、あとは全部1位残りだった。決勝は、相手ではなく自分と向き合って、いかにこのレーンで200アップできるかというところが大事になってくると思

った。ただ(永野)すばるプロとの対戦では、勝負を意識しだしたときに何回か失投が出てしまった。とくに再優勝決定戦の9フレあたりから、これまで経験したことがないほど緊張した。やっぱり欲が出たんだろうと思う。優勝は、アメリカでやってきた成果のたまものだと思う。ロフトの技術やインサイドの技術は、向こうでもまれて身につけてきた。上から目線のように思われるかもしれないけど、周りのレベルが上がってきているなというのを、最近すごく感じる。そんななかでも絶対王者でいた



い。そのためには、アメリカに挑戦し続けなければいけないし、挑戦をやめたら、自分の成長が止まると思う。2020年はトーナメントが増えるし、スケジュール調整が難しいけど、とりあえず年明けは、KUWATA CUPの前までアメリカに行くつもり。(優勝ボール: STORM IQツアー・エメラルド、ウルトラ・ソニック)

●再優勝決定戦

川添 奨太	30	59	79	95	103	123	143	159	168	188	
永野 すばる	9	16	24	44	64	94	122	142	159	168	184

●優勝決定戦

永野 すばる	20	37	46	66	85	94	103	123	143	172	
川添 奨太	8	18	27	47	67	85	93	123	153	182	201

2019年度ランキング 川添奨太6度目の3冠

女子より一足先に全日程を終えた男子プロツアー。ランキング争いは各部門とも接戦だったが、「全日本を勝った年はすべて3冠を取っている」と、最終戦の全日本を制した川添奨太が、賞金でもトップを走る市原竜太を逆転して、6度目の3冠に輝いた。

- ポイントランキング
 - ①川添 奨太 4,047P
 - ②藤井 信人 3,517P
 - ③永野すばる 3,472P
- 賞金ランキング
 - ①川添 奨太 5,666,200円
 - ②市原 竜太 4,876,200円
 - ③永野すばる 4,031,100円
- アベレージランキング
 - ①川添 奨太 223.16AVG
 - ②藤井 信人 221.74AVG
 - ③永野すばる 219.17AVG